

# 平成 30 年度（通算第 19 回）長崎自然共生フォーラム通常総会

## 開 催 報 告

日時：平成 30 年 7 月 21 日（土）15：15～17：30

場所：大村マリーナホテル（大村市西本町 500-6 番地 TEL：0957-54-1221）

議長：会長 宮原和明氏

（長崎総合科学大学名誉教授・NPO 環境カウンセリング協会長崎副理事長）

開会に先立ち、事務局長から会員 39 名中、出席者 26 名（うち委任状 13 名）を得て、総会は成立する旨の確認報告があり、幹事会は省略して議事進行した。

開会挨拶（会長）：昨年の総会后、研究会等を実行できず申し訳ありません。当会も 19 回を迎えることになりました。日頃より会の運営に協力いただきありがとうございます。今後も造園建設業協会の皆さんとともに学識者等とのつながりを活用しながら、実のある活動を続けていきたいと思ひます。また、課題である会の活性化を考慮した若手技術者の参加、協働の促進を検討し、前へ進めていきたいと思ひますので、協力の程お願いします。

出席者(会員)：生野、大塚、奥野、来崎、菅、鈴木、田雑、為永、富永、中瀬、西田、早瀬、牧、宮原（五十音順）

### ○ 議事録

#### <第 1 号議案> 会員状況報告について（大塚事務局長）

平成 30 年 4 月 1 日、正会員 39 名。

（承認）

#### <第 2 号議案> 平成 29 年度事業報告について（宮原会長）

平成 29 年度は研究会活動ができなかった。

ながさきエコライフフェスタ、長崎県住宅フェア等に参加した。

（承認）

#### <第 3 号議案> 平成 29 年度決算報告について（大塚事務局長）

平成 29 年度収支決算を紙面により口頭説明があった。

一般会計 決算額 1 5 2, 2 2 8 円（次期繰越額 1 0 6, 5 2 8 円）

繰越内訳 現金 3 7, 5 9 2 円

親和銀行 2 0, 0 0 8 円

郵便局 4 8, 9 2 8 円

（承認）

#### <第 4 号議案> 平成 29 年度監査報告について（富永監事）

平成 30 年 7 月 20 日付適正に処理されている旨、富永監事から報告があった。

（承認）

**<第5号議案> 平成30年度事業計画(案)について(宮原会長)**

1. **事業活動について**・・・会の趣旨に沿う補助金を得て、他団体とのコラボ活動を試みる。会員提案事業を公募し、自主的運営を実施する。また、県・市のノーマイカー運動等の市民運動にも協力する。
2. **運営委員会、幹事会について**・・・研究会および(一社)県造協理事会の機会に開催する。年2回定期的に開催する。併せて他団体との交流講演会や研究会への参加を助長する。
3. **研究会活動や交流会について**・・・会員の学び場や研鑽を兼ねて、年1～2回自主研究会及び講演会等を企画し、交流の場をつくる。研究会の講師として、行政課長等にもお願いし、相互理解と行政、大学、事業所の協働の深化を図る。
  - (1) 県自然環境課や関連部課の政策について
  - (2) 長崎市・佐世保市等まちづくりや景観行政などの政策について
  - (3) 造園・環境・まちづくり行政分野の専門家等
4. **会員情報誌のニューズレターの充実と発行に取り組む。**  
年2回程度発行する。  
特に今年度からは、巻頭言や話題提供を幹事など役員の皆さんに順送りをお願いする。また若手社員の皆さんの積極的な情報提供をお願いする。
5. **(一財)日本造園修景協会への参加検討について**  
当会名義においては入会しないこととした。

(承認)

**<第6号議案> 平成30年度予算(案)について(大塚事務局長)**

収入 会員36名として72,000円を計上。  
支出 平成29年度162,228円に対して、予備費を91,528円に増額し、178,528円。  
繰越金 106,528円。

(承認)

**○基調講演：新県庁舎の整備と屋上緑化・防災緑地の整備について**

長崎県土木部住宅課長 高屋 誠氏

(NL23号で紹介予定)

**○交流会**

総会講演会の後、海側へ場所を移動し、てん新において、県造協からのおいしい日本酒とともにおいしい料理をにこやかな会話の中で、交流会は盛り上がった。参加者は13名であった(17:45～19:45)。

以上